

# 令和4(2022)年度 下都賀地区小・中・義務教育学校教頭研修会を開催しました

日時 令和4(2022)年5月26日(木)

会場 壬生城址公園ホール

対象 下都賀管内各小・中・義務教育学校教頭

内容 (1) 挨拶

- ・下都賀教育事務所 竹田 昌彦 所長
- ・市町教育委員会連合会教育長部会代表  
壬生町教育員会 田村 幸一 教育長



(2) 説明 学校支援課から指導面について

下都賀教育事務所学校支援課 指導担当

- ・学校訪問指導について
- ・いじめ・不登校等対策について
- ・とちぎっ子学力アッププロジェクトについて 等



(3) 説明 学校支援課から管理面について

下都賀教育事務所学校支援課 管理担当

- ・令和3(2021)年度の学校事故報告等より
- ・学校事故の報告について
- ・教職員評価制度について 等



(4) 講話 「学校組織マネジメントにおける教頭の役割」

講師 栃木市立皆川中学校長 石田 正彦 氏

- ・教職員の資質・能力の向上に向けて  
校長研修会について  
職員室通信を生かして
- ・教頭としての資質・能力の向上に向けて  
自己の振り返り  
仕事の進め方
- ・学校経営への意識  
校長とのつながり  
学校組織マネジメント
- ・協議、振り返り



## 参加者の振り返りから

### <説明「令和4(2022)年度学校訪問指導について」より>

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、子どもが主語の指導や支援のキーワードを多く確認することができ、授業を大切にしたい気持ちや授業改善への意欲等を高めることができた。教師の指導力向上に生かしていきたい。
- ・学業指導について、児童生徒指導との関わりをよく考えて、自己指導能力の育成に向けて進められるように、職員に紹介していきたい。
- ・下都賀地区学校教育の重点について、自分の立ち位置を考え、見直す機会になった。自校の学校課題研究と照らし合わせ、教育活動の充実を図れるように努めていきたい。
- ・いじめ・不登校等への対応について、専門機関やスクールカウンセラー等と連携し、「自他の命を守るよう」という視点を強く持ちながら、組織的に支援していきたい。

### <説明「教職員の服務規律の保持」より>

- ・5月、6月に学校事故が多いこと、誰にでも起こる可能性があるということから、未然防止のために、コンプライアンスチェックなど時期を踏まえた研修を行ってきたい。
- ・危機管理、綱紀の保持を通して、未然防止に努め、教職員を守るためにも、情報が集約するよう風通しをさらによくするように努めたい。
- ・「学校事故は人災である」ことを、全教職員に対して緊張感を持って、誰もが自分事として受け止め、教職員としての自覚を改めて持ち、決して信頼を損ねることのないようにしっかりと伝えていきたい。

### <講話「学校組織マネジメントにおける教頭の役割」より>

- ・校長の意をくみ取り、「本校ならではの」教育活動実現に向け、教職員と意思疎通を進めていきたい。キーワードとして、「具申」と「教頭の強み」を得ることができた。今後の職務に生かしていきたい。
- ・「相手がつながりたいと思われる存在」になるためにも、自分の仕事をマネジメントして、余裕を持てるようにしたい。教職員の資質・能力を育てていくためにも、先を見通し、時間の余裕を生み出したい。
- ・「変わる」「見つける」「つなぐ」の視点を踏まえた上で、若手とベテランのそれぞれの強みを生かし、皆が学び続ける、チャレンジができる雰囲気をつくりだしていきたい。
- ・先生が働きやすい職場であることが、子どもにとっても学びたい学校になる。多くの笑顔を生み出せるように、働き方改革を進めていきたい。
- ・「管理職には、ゆっくりなればいいんだよ」という言葉が今の自分にとっても心にしみる言葉だった。焦ることなく着実に教頭になっていこうと思う。

### <その他>

- ・校長研修会の内容にも触れていただき、GIGA スクールや ICT での新しい学校づくりに向けて「とにかくやってみる」という言葉に、背中を押されました。
- ・「主体的な業務改善」を進められるよう、学校組織を見直していきたい。
- ・「見方・考え方・捉え方」の意識改革を、自分自身から率先して行いたい。